

まえがき

この本を手にとってくださってありがとうございます。あなたは少なからず語学に興味を持っていらっしゃることでしょう。あるいは世界を広げたいと思って何かを模索しているところかもしれません。この本があなたが語学で世界を広げるための一助となれば幸いです。

「役に立つからやるべきだ」といったおせっかいな論調は、特に英語に関しては、巷にあふれており、私自身そのような口調で何かをすすめられると途端にやる気をなくしたりしますので、少し違った切り口で語学の楽しさやそれをやる意義についてお話ししていきたいと思います。

現在、私はドイツで翻訳とドイツ語教師を生業とする傍ら、ドイツ語に関するブログや動画やメルマガを発信しています。私のブログ記事を見てくださったGalaxyBooks株式会社の方から『語学で世界を広げる』というテーマでの執筆のお話をいただき、この度筆を執ることにしました。

この本ではまず、私自身がどのような経験をしてきたのか、それで何を思うようになったのかについてお話しします。次に、2章で「世界を広げる」とはどういうことなのか、いわゆる〈常識〉がどこまで根拠や正当性があるのか、具体的にどうしたら

それを実現できるのかといったことについて論じ、3章で世界を広げる手段の一つとして「外国語を学ぶ」とは何を意味するのか、言語と思考や感情の関係などをご紹介します、語学の楽しさを知ってもらうために、ドイツ語の例もご紹介します。最後に、これらのことを踏まえてあなたが次に何をしたらよいのか、いくつかの提案をしたいと思います。そのなかには、そもそもの価値観から見直すための指針も含まれています。

この本を読んだ後に、あなたが何かを行動に移す勇氣を持っていただければ嬉しい限りです。